

東京へ行こう！目指せ愛知県代表！！

スポGOMI甲子園2023

愛知県大会概要



スポGOMIとは



スポーツのチカラで、町や海のごみ問題にアタック！

「スポGOMI」は、日本生まれの最も地球にやさしいスポーツです！

町や海的环境保全を人任せにせず、自らの汗と情熱で解決しようという活動です。

既存のごみ拾いにスポーツ的な要素を組み込むことにより、環境問題対し意識の低い層にごみ拾いへの参加のきっかけを作りました。

仲間と競い合い楽しみながらごみ拾いをする中で、競技時間中に自然と自分たちの町や海のごみ問題と向き合い、共に考えるきっかけを作ることができます。

改めて町や海の現状を知ったとき、人は「キレイな環境で暮らしたい！」と思うはずです。

そうすると、町や海をキレイに保とうという気持ちが生まれ、住む町に誇りを持てるようになるのだと思います。

2016年 内閣府クールジャパンフォーラム審査員特別賞 受賞

2019年 環境省グッドライフアワード環境大臣賞 受賞

2021年 文部科学大臣表彰 科学技術賞 受賞



スポGOMI甲子園について



2019年からスタートした、日本財団 海と日本プロジェクトの一環で全国の高校生を対象として、ごみ拾いにスポーツ的なルールを盛り込んだ「スポGOMI甲子園」を開催。各都道府県共に10チーム以上を募集し、各チーム3人一組でチームを組む。制限時間の60分で予め定められたエリア内のごみを拾い、その質と量をポイントで競い合う。各道府県の優勝チームが東京へ集結し、高校生ごみ拾い日本一を競う大会。

- ◆2019年：20道府県にて予選大会 1,197名参加／ごみ総重量 1,293.83kg
日本一：津工業高校（三重県代表）
- ◆2020年：25道府県にて予選大会 1,329名参加／ごみ総重量 1,859kg
日本一：川口工業高校（埼玉県代表）
- ◆2021年：30道府県にて予選大会 1,462名参加／ごみ総重量 1,718kg
日本一：愛媛大学付属高校（愛媛県代表）
- ◆2022年：35道府県にて予選大会 2,177名参加／ごみ総重量 2,076.9kg
日本一：川口工業高校（埼玉県代表）



愛知県大会概要

- イベント名 : スポGOMI甲子園2023 愛知県大会
- 実施日時 : 2023年10月28日(土) 10:00~12:30 (受付開始9:30)
荒天時 2023年10月29日(日)
- 実施場所 : 名城公園(北園) 名古屋市北区名城1丁目
- 実施内容 : スポGOMI甲子園は、全国の高校生(15~18歳)が各エリアでゴミ拾いを競い合い「高校生ゴミ拾い日本一!」を決めるものです。当大会は、全国大会に出場する愛知県代表チームを決める地方予選会。3名でチームを組み競技時間の60分間で予め決められた競技エリア内のごみを拾い、その質と量を競い合います。
- 募集数 : 20チーム
- 主催 : 一般社団法人海と日本プロジェクトin愛知県、
一般社団法人ソーシャルスポーツファウンデーション
共催 : 日本財団 海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE

オリジナルアイテムとは



試合を有利にする！オリジナルアイテムについて

本大会では有効的にごみを拾うために高校生の手で開発されたアイテムを持ち込むことができます。

ごみ拾いをスポーツ化したスポGOMIにおいて、スポーツにおける「心・技・体」の「技」の部分でも高校生同士、競ってもらうことを目的とし、2020年大会より採用しました。選手たちはスポGOMI甲子園に向け、各チームでアイデアを絞り製作し大会当日に持参して出場します。優秀作品には別途オリジナルアイテム賞を授与します ※オリジナルアイテムの制作、持参は任意です。

■ オリジナルアイテムルール

- ・サイズと重量 **3辺、タテ・ヨコ・高さの合計を115cm未満（組み立て後）、10kg以下**
- ・既存製品のままでのごみ拾いはオリジナルアイテムとは認められません。
- ・発電機の使用不可、乾電池OK
- ・ごみを運搬することに特化したアイテムはオリジナルアイテム賞候補から外れることがあります

■ 審査基準

- ① 意外性、実用性の高いアイテム
- ② ストーリー（背景）の分かるアイテム
- ③ 出来るだけ環境に配慮した素材で制作したアイテム



廃材を利用した回収袋



トングの先を掴みやすいよう加工